

新人事・賃金制度見直し反対シリーズ 19

## 事故防止の最前線にいる社員の努力を認めない会社！

### 無事故表彰制度廃止反対！

今回の提案では、乗務員の特殊性を無視した内容が提案されています。会社は輸送業においては「安全・安定輸送の確保」を重要課題としています。現場では些細なミスまで事故扱いにされ、ミスを起こせば責任を徹底的に追求され、レッテル張りされ、教育がなされ、フォローが行われ、添乗強化がされ、処分が出されます。一方、ミスをせずに仕事を済ませてもご苦労様でしたの一言もなく、これが1年続こうが3年続こうが勤務成績プラスには繋がらないのです。これまで唯一あったのが「運転無事故表彰」でした。この表彰は現場で働く社員全員が対象の制度でした。リスクが高い職種ほど早く表彰されるというある意味、公平な制度でした。保線区などではこの表彰は一つのステータスにもなっていました。会社は「運転業務に従事する社員のみを表彰する」制度は廃止することにしたと言っていますが、全く意味が分かりません。

### いつも祝日が休みの人に

#### 祝日勤務は特殊じゃないと言われたくない

祝日手当も廃止すると提案されました。団交の中で会社は「祝日に働くことは勤務としては特殊ではない。休みの価値を算定しない。祝日手当の原資を職務手当に反映した」と議論されています。正月に、きつい仕事が充当され、休みなく働く者でも、12月31日から1月3日まで休み年末年始行事を行える人が同じ手当で不公平はないのでしょうか。一般的には、ほとんどの会社が正月は休みで、仕事をしている会社では正月に働く場合は当てが付いています。

**祝日に休んでいる者が決めた不公平この上ない、祝日手当廃止が許せますか？**